

所属・職位	福祉健康科学部 福祉健康科学科 社会福祉実践コース・講師	
氏名	栄留 里美 (Eidome Satomi)	
取得学位	日本女子大学大学院人間社会学研究科社会福祉学専攻博士後期課程 単位取得満期退学 2014年3月 博士(社会福祉学)、鹿児島国際大学、2015年3月	
SDGs目標	   	

研究分野	社会福祉学
研究キーワード	子どもの人権, アドボカシー, 権利擁護

<p>研究内容</p> <p>・子どもアドボカシーに関する研究</p> <p>すべての子どもは自分自身に関わることにについて意見を言う権利があり、そしてそれを聴いて受け止めてもらう権利(国連子どもの権利条約12条)があります。しかし、時として、保護者や施設職員・里親など養育に関わる人たちに要望を伝えても聴いてもらえないこともあるでしょう。深刻な場合には、子どもたちが暴力を受けていて声を上げられないこともあります。</p> <p>そのようなときに、子どもたちが安心して助けをもとめられる第三者が必要とされます。子どもたちに求められる「第三者」とはどのような仕組みが望ましいのか、子どもたちがこの権利を保障される社会の在り方はどうあるべきかを科研費等の助成により研究しています。</p> <p>私が特に注目しているのは、子ども側に立って代弁する特徴をもつイギリスのアドボカシーサービスという仕組みです。日本にも、このような「第三者」を創るにはどうしたらいいか実践研究を進めています。それらの成果を単著や共著として発信しています。</p>	 <p>著書・共著</p>
---	--

<p>研究業績・アピールポイント</p>	<p>(単著)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2015年『社会的養護児童のアドボカシー：一意見表明権の保障を目指して』(明石書店) <p>(共著)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2009年『子どもソーシャルワークとアドボカシー実践』(明石書店) 堀正嗣、栄留里美 ・2011年『イギリスの子どもアドボカシー—その政策と実践』(明石書店) ・2013年『子どもアドボカシー実践講座』(解放出版社) ・2018年『独立子どもアドボカシーサービスの構築に向けて—児童養護施設と障害児施設の子ども・職員へのインタビュー調査から』(解放出版) ・2021年『アドボカシーってなに?—施設訪問アドボカシーのはじめかた—』(解放出版)・『子どもアドボカシーと当事者参画のモヤモヤとこれから』(明石書店)・『施設訪問アドボカシーの理論と実践』(明石書店)
-----------------------------	---